

犬久野島ビジターセンター便り

Vol.93 (R5.3.14)

春の陽気になり、フサアカシアの花が見ごろを迎えました。動植物たちの様子が少しずつ変化し始めるこの時期は毎日がワクワクしますね！

さて、みなさんは瀬戸内海国立公園の黒滝山をご存じですか？ 忠海港から北を見るとそびえている山で標高は 270mです。山頂からは、多島海景観美を望め、地元の人からは「くろたきさん」と呼ばれ大事にされています。今回は、3月11日(土)に実施した黒滝山自然観察会の様子をみなさんにお届けいたします。



【開会あいさつ風景】

- ・JR 忠海駅に集合し、環境省 永瀬自然保護官よりお話をいただきました。
- ・この日は快晴で、朝から暖かく、日中はグングンと気温があがりました。



【ツメレンゲの観察】

- ・環境省 準絶滅危惧
- ・早春は写真のように葉が縮こまっています。(右下は開花時の様子)
- ・発芽から開花まで3年程かかるそうです



【ニホンヒキガエルの卵の観察と解説】

- ・広島県 絶滅危惧Ⅱ類
- ・広島大学の池田さんと地元有志中井さんより解説を受けました。
- ・ニホンヒキガエルは卵から孵化した時の水のおいを覚えているようで、繁殖可能になる(約3年)と再び戻ってくるそうです。大きくなってまた黒滝山に戻ってきてね。





【自然観察会の様子】

- ・森川さんの解説を受けながら、山頂に咲いているゲンカイツツジを目指して登りました。
- ・イスノキやソヨゴなどの樹木や早春に花を咲かせるナガバタチツボスミレなど、色々な植物のお話を伺いました。
- ・ヒサカキのにおいがただよってきて、春を感じる事が出来ました。



【ゲンカイツツジの観察と解説】

- ・環境省 準絶滅危惧
- ・森川さんより解説を受けました。黒滝山では標高 100m付近から観察が出来ます。
- ・明るくて乾いた貧栄養の土地を好んで群生するそうです。黒滝山を愛する会の方々が山を手入れされているので、ゲンカイツツジにとって生育しやすい場所が保たれているようです。



【国立公園の解説と黒滝山からの景色】

- ・環境省 永瀬自然保護官より解説を受けました。
- ・忠海の町と瀬戸内海に浮かぶ島々の様子を望むことができ、景色も最高です！
- ・空気の良く澄んだ日は、愛媛県の石鎚山も見ることが出来ますので是非チャレンジしてみてくださいね！



【臥龍のソテツの観察と解説】

- ・推定樹齢 600 年の雌株で地蔵院の境内に生育しています。
- ・天然記念物には指定されていませんが、とても大きく堂々とした風格を備えており、「臥龍の蘇鉄(がりゅうのソテツ)」と呼ばれて親しまれています。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★ 記念写真 ★★★★★★★★★★★★★★★★★★



日にち 令和5年 3月11日(土)
参加者 15名
天候 晴れ
講師・補助
森川 和彦さん
池田 誠慈さん
中井 貢さん



大久野島ビジターセンター便り vol. 93 R5. 3. 14 発行
発行・編集：大久野島ビジターセンター
〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島
電話・FAX：(0846) 26-0100
開館：9:00～16:00 休館日：水曜日（1-2月は水・木）
お問い合わせなどはこちらまで 担当 馬場